

大田区自立支援協議会 令和5・6年度 第15回地域生活部会議事録

文責：池田（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 令和5・6年度 第15回地域生活部会			
(2) 開催日時	令和7年2月18日(火) 10:00~12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 集会室			
(4) 出席した委員、事務局	伊藤 朋春	小松代 菜央	大場 貴弘	小野 英次郎
	池田 栄美	小林 寿江	南雲 好晶	青山 明子
	橋本 朋子	広瀬 健次郎		
	区事務局：土岐 親跡 齋藤 鈴木 小西			
(5) 内容・要旨	<p>1 議題</p> <p>(1) 事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席確認 ・部会スケジュールの確認 ・司会 伊藤部会長 書記 池田委員 <p>(2) 令和5・6年度の活動について</p> <p>「10年後も住み続けたい大田区へ～世代を越えて知る機会を～」</p> <p>◎今年度の活動まとめ</p> <p>令和5・6年度地域生活部会報告の内容を確認し、意見交換しながら文言の加筆修正作業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○P2「令和5年度活動概要」前回確認済み ○P3「令和6年度活動概要」 <ul style="list-style-type: none"> ・スピーカー募集→発表 ・学齢期→障害種別における親の視点、学校における支援の視点 ・発表者のところに「視点」を入れる。 ○P4「乳幼児期から学齢期」 <ul style="list-style-type: none"> ・母同士→親や家族 P4「成人期」 ・住居や就労等の支援機関とつながっている方は、より正確な情報を知り得る機会がある。 ・多様な就労希望に合わせて就労支援、計画相談、学校と連携、情報収集の整理が必要。 ・住環境を整える際は地域の関係機関（医療、行政、学校、就労先、各福祉サービス事業所、居住施設等）とのやり取りが必要。 ○P5「高齢期」 <ul style="list-style-type: none"> ・親や家族が関係機関から情報を受け取るか。 ・区、行政、就労先、各福祉サービス事業所、居住施設等へいかに共有することができるかが重要。 ・障害福祉サービスから介護保険サービスの利用において関係機関との情報のやり取りが必要。 ・自分らしく暮らしていくために親や家族以外の頼れる人に出会える機会が重要。 ・権利擁護等（意思決定、支援、成年後見等）の活用が課題。 P5「見えたこと」 ・本人、家族との信頼関係が重要。「言えない、聞けない」の関 			

	<p>係性をどう「言える、聞ける」に変化させるかが課題。</p> <p>◎来年度にやってほしいこと、残っている課題について</p> <ul style="list-style-type: none">・情報収集は現状アナログが基本となっており、DX化が進んでいないことは課題。 <p>介護保険ではクラウド上で情報のやり取りができる。 大田区が都や国にあげてほしい→今も取り組んではいるが後押しになる。</p> <p>個人情報、誰が入力するか等の課題もある。</p> <p>◎各委員が感想を述べた。</p> <p>2 その他</p> <p>第3回本会について</p> <ul style="list-style-type: none">・日時：3月3日(月)14時～16時・参加希望者は連絡をする。・各部会の報告では、当部会は今回も部会長がまとめて報告する。・令和7年度、8年度のテーマは新年度の委員で決める。
--	---